

パネル展&井戸端サロンを開催中！！

第11号の内容

【第1面】

◆パネル展&井戸端サロンを開催中！

・パネル展
平成26年9月20日(土)～
11月15日(土)

・井戸端サロン

第1回

平成26年10月4日(土)

第2回

平成26年11月1日(土)

【第2面】

◆HUG²(はぐはぐ)祭り開催のお知らせ

平成26年11月16日(日)

◆万里一空

【第3面】

◆クローズアップ/団体紹介とこの人:永井妙実さん

【第4面】

◆団体さんこんにちは！

《セルフヘルプの団体》

①奈良言友会

②奈良市断酒会

【第5面】

◆地域ではぐくむ

子どもたち

《登美ヶ丘中学校区

地域教育協議会》

【第6面】

◆お知らせ！

情報コーナー

・市民公益活動入門講座

・ボランティア入門講座

のご案内

・ボランティア活動先一覧

・情報コーナーの

おすすめ本

・【ボランティア】行きます！

来て下さい！

・交流コーナー/パソコン・

情報コーナー

・連絡先・地図

・編集後記

奈良市ボランティアインフォメーションセンターでは、市民の方々に、ボランティアや市民公益活動の魅力をさらに深く知っていただくために9月20日～11月15日までの間、はぐくみセンター内1階ウェルカムホールに於いて“NPOとボランティア団体”パネル展&井戸端サロンを開催しております。

奈良市内を中心に活動されている各団体さんが、自分たちの活動をパネル等で紹介しています。展示は4クール、それぞれ2週間ごとに団体さんが入れ替わります。

(下表参照)

また、第1クールと第2クール、第3クールと第4クールのパネル展の入れ替えの際に、団体さん同士の交流や情報交換の場として「井戸端サロン」を次の通り開催します。

【井戸端サロン】

①10月4日(土) ②11月1日(土) 14:00～15:00 交流コーナー

この井戸端サロンには団体の方々の他に一般市民の方も参加していただけます。是非たくさんの市民の方々及び団体関係者の方々のご来場をお待ちしております。

【パネル展出展団体一覧】

第1クール	第2クール	第3クール	第4クール
9月20日(土)～10月4日(土)	10月4日(土)～10月18日(土)	10月18日(土)～11月1日(土)	11月1日(土)～11月15日(土)
奈良・自然への感動を伝える会「ならなぎ」	ハートハース	なら消費者ねっと	奈良市断酒会
奈良芸能文化協会	奈良の食文化研究会	NCN若草の会	日本オストミー協会 奈良県支部
慢性疼痛患者の集い「今を生きる会」関西	高畑自然教室	奈良友の会	和食の底力を納得する会
奈良PHP友の会	森づくり奈良クラブ	奈良市要約筆記サークルOHPならし	アンダンテ農園
なら・観光ボランティアガイドの会	国際交流ならふれあいの会	電子自治体アドバイザークラブ	環境ネットワークなら
この指とまれ21	市民活動サークルえん	アゴラ音楽クラブ	奈良オーガニックマーケット
いこま山の子会	サポート21・なら	日本結婚教育カウンセラー協会	ガールスカウト奈良県連盟
奈良市地球温暖化対策地域協議会	地域未来エネルギー奈良	奈良ストップ温暖化の会	宙塾
政策研究ネットワーク「なら・未来」	きみかげの森	奈良好き人のつどい	奈良子どもの本連絡会
ならゆうし	日本ボーイスカウト奈良県連盟わかさ地区協議会	奈良中国帰国者支援交流会	吉野そでいか保存会
TPNシアター・プロジェクト・奈良	奈良県発達障害支援センター であー	奈良市まほろばシェアリングネイチャーの会	かかしの会
サークルおてんとさん	奈良県地域取材班 若芽	青山7丁目GS	なら子育てネットワーク
にほんご・奈良・わの会	鹿サポーターズクラブ	奈良おはなしの会	奈良国際協力サポーター
奈良シニアIT振興会	team奈良女	フリースペースSAKIWAI & ふきのとうの会	秋篠川源流を愛し育てる会
			奈良の民話を語りつくす会





はぐはぐ HUG²祭り

11/16(日)
10:00~16:00

開催のお知らせ!



文化・スポーツの秋の日の一日を、ボランティアインフォメーションセンターで、みんなと一緒に楽しく過ごしませんか? ご家族おそろいで、ご来場ください。

市民の皆様には、

ふらっと気軽に立ち寄り、ボランティアや市民公益活動団体の活動を知ることができるイベント



HUG²祭り概要

■内容

市民公益活動団体の見本市のような1日です。日頃の活動発表や団体のPR、また物品の販売もあります。

- ①HUG²市場
- ②ステージ発表
- ③キッズコーナー 等

■出展・出演団体

HUG²市場 30団体程度
ステージ発表 8団体程度

■日時

平成26年11月16日(日)
10:00~16:00

■場所

はぐくみセンター1階
ボランティアインフォメーションセンター

団体の皆様には、

団体のPRや物販を通して活動資金を獲得する場、他団体との交流の場として楽しめるイベント



HUG²市場

活動紹介・グッズや
手作り品の販売等



ステージ発表

歌・ダンス・楽器演奏等

キッズコーナー

お楽しみに!



万里一空

第9回

「知的障がい者のグループホーム建設を目指して」

事務職員 松本 雄一郎



私は現在、奈良市ボランティアインフォメーションセンターで事務の仕事をしてながら、一方で知的障がい者のグループホームを作る活動をしています。現在は、まだまだ、障がい者にとって、厳しい社会環境の中にあります。そんな中で、障がい者も、健常者と同じように尊ばれ、尊厳をもって暮らすことのできる社会の実現を目指します。

まず、その一環として知的障がい者と健常者であるアシスタントが、一緒に暮らして血のつながらない家族(コミュニティ)をつくるグループホーム(丸シルシ)を建設します。そこでは、一人一人の人を大切にすることによって、お互いが価値ある存在であることを実感し、共に輝いて生きることを目指します。

この目的を達成するためにも、私自身、強い信念をもって事に当たらないといけませんので、最近、自身の内から湧いてくる力に注目し、外的な要因に左右されず、むしろそれに立ち向かっていく力を発揮すれば、強い自分を確立することが出来るのではないかと、この確信を持つようになりました。

残されたこれからの人生をこの事に掛けて一生懸命頑張りたいと思っています。

現在は、一任意団体に過ぎませんが、そのうちに活動を充実させてNPO法人を設立し皆さんの仲間入りをしたいと思っています。



第1回 クローズアップ / 団体紹介とこの人

今回は、JICAの国内拠点の1つ、「JICA関西」で平成26年1月から、奈良県担当の職員として活躍されている、永井妙実さんをご紹介します！現在の仕事と出会うまでの様々なエピソード、いま取り組んでいること、さらに今後の目標などをインタビューしました！

■海外への関心

私が初めて海外を意識したのは小学校5年生のときで、イギリスで開催された「国際キャンプ」に参加したのがきっかけです。英語なんて話せない普通の小学生でしたが、世界12カ国から集まった参加者と1ヶ月のあいだ寝食を共にして生活するなかで、「言葉が通じなくても友達になれる」という実感と、「英語が話せないと生きていけない」という危機感を同時に体験し、「海外へ留学して英語を学びたい」という思いが強くなりました。



永井妙実さん

■留学の実現

それを実現したのが、17歳のときです。アメリカのアラスカ州へ1年間留学したのですが、友達から「産婦人科医になりたい」という目標を聞いて、「こういう道もあるんだ！」と将来の視野がいきなり広がったことや、地域の幼稚園でアシスタントをしたときに「自分はこんなに子どもが大好きなんだ！」と自覚できたことなど、そこで経験した様々な出来事が、私に「医療の分野で、できれば子どもたちに関わる仕事をしてみたい」という具体的な目標を与えてくれました。

■看護師を目指して

帰国後に日本の高校を卒業して、今度はシドニー（オーストラリア）で1年間の語学研修を経たのち、現地の大学（3年制）で看護師を目指して看護学部へ入学しました。最初の頃は、医療英語をはじめとした、看護師として必要な言葉・知識・経験を身につけるため非常に苦労しまして、休日のたびに日本へ帰りたいたく考えたくらいです。でも、3年生のときには心の余裕もすごくできて、大学でやっと楽しいと思える時期を過ごすことができました。

■職場での出会い

大学卒業後は現地（シドニー）の病院に勤め、新卒プログラム（最初の1年間）終了後は、総合外科で主に癌など腫瘍の切除手術の、術前や術後のケアを担当することになりました。その病院では、非常に尊敬できるベテランの先輩看護師たちとの出会いがありまして、仕事を通じて様々なことを学びました。そういった出会いは、今でも私の大きな財産になっており、その後の人生にも多大な影響を与えています。

■帰国の決断

病院へ勤めて約3年半後に退職して日本へ帰国したのですが、それは、奈良に住んでいた祖母に癌が見つかり、医師から「余命が半年しかない」という宣告を受けたことがきっかけでした。結果的に、祖母は私が帰国して約3カ月後に亡くなるのですが、その間に病院で付き添いながら、看護師としての知識や経験を祖母へ還元できたことが、自分にとって本当に大きかったです。

永井妙実（ながい たえみ）さん
独立行政法人国際協力機構関西国際センター（JICA関西）
市民参加協力課 国際協力推進員 奈良県担当
【配置先】
〒630-8122 奈良市三条本町8-1 シルキア奈良2F
奈良県外国人支援センター内『JICA奈良デスク』
TEL&FAX：0742-81-3830 携帯：080-8506-3718
Mail：jicadpd-desk-naraken@jica.go.jp
HP：http://www.jica.go.jp/kansai/（JICA関西）

■青年海外協力隊へ

祖母が亡くなったあとも、日本に残って次の仕事を探していたのですが、日本では海外の看護師免許が使えないので「看護師として働く」ことは考えませんでした。最終的には、語学も含めて「これまで得た知識や経験を発揮できる環境で仕事をしたい」ということ、「開発途上国や子どもたちの役に立ちたい」という自分の気持ちなど、いろんなことを考えた結果、途上国での活動は自分にとって非常にやりがいのあることだと思っ、JICAの事業の一つである青年海外協力隊へ応募しました。

■アフリカにて

開発途上国の現状を、知識としてではなく、自分の目でしっかり見たいという思いから、アフリカでも最貧国といわれる「マラウイ共和国」を派遣先として希望しました。2年間にわたって、現地のヘルスセンターのスタッフと、母子を対象にした予防接種の啓発活動や学校保健、水回りの調査など、公衆衛生や地域保健に関する様々な活動をおこないましたが、現地の文化や背景を理解するまでは苦労や失敗も多かったです。ただ、現地の人々と肩を並べて過ごすなかで、少しずつ私のことも知ってもらって、最終的に信頼を得ることができたのは、草の根レベルで活動する青年海外協力隊だからこそ可能だったのかな、と思いました。

■帰国、そしてJICAへ

マラウイ共和国での時間を通じて「やっぱり自分は日本人だな」と痛感しまして（笑）、「これからは日本に落ち着くぞ！」と決めて帰国しました。これは自分にとって大きな心境の変化で、それまでは海外にばかり目を向けていたのが、「日本でできる国際的なこと」に強い関心を抱くようになったんです。それが、いまの国際協力推進員という仕事に携わるキッカケになりました。

■現在の活動

国際協力推進員は、担当地域における「JICA事業の総合窓口」のような存在で、私は奈良全域を対象にして、JICA事業の広報・啓発活動の推進や、自治体の国際協力・交流事業との連携促進業務などを行っています。ボランティアインフォメーションセンターなど、主要な公共施設へ各種パンフレットやチラシを設置して、多くの市民にJICAの活動について知っていただくこともそうですし、学校や公民館などに出向いて、国際協力出前講座を開いたり、国旗作りやフェイスペイントなどプログラムに参加して楽しく世界について学んでもらったり、いろんな活動をしています。



外国人職員さんと日本語交流

■今後の目標

現在の仕事や活動を通じて、歴史ある古都であり、同時に世界的な観光都市でもある「奈良」の、さらなる国際化、グローバル化のお手伝いできたら良いなと思っています。

私の考える国際化とは、「海外に行くこと」や「外国語が話せること」ではなく、「その地域で生活する人々が、自分の社会以外にも興味や関心をもつこと」です。ですので、奈良で暮らす人々が、奈良以外の都道府県、日本全体、あるいは日本以外の国に対して、文化や歴史、映画や音楽、どんなことでも良いので、ひとつでも興味や関心を持つこと、その最初の1歩を踏み出すキッカケをつくっていくことが、私の今後の目標です。

●JICAとは ● 『JICA(ジャイカ)』(正式名:独立行政法人国際協力機構)は日本政府の開発途上国支援(政府開発援助)を実施する機関で、世界の約150ヶ国へ様々な協力や支援をおこない、毎年約1万人の日本人(ボランティアや専門家)を海外に派遣する一方、途上国から約1万人以上の研修員を日本に招いています。

セルフヘルプ



今回はセルフヘルプの
団体さんの登場です

団体さんこんにちわ!



セルフヘルプ(自助)グループとは、なんらかの困難や問題、悩みを抱えた人が同様な問題を抱えている個人や家族と共に当事者同士の自発的なつながりで結びついた集団。その問題の専門家の手にグループの運営を委ねず、あくまで当事者たちが独立しています。◆体験の共有、分かち合い◆自分の抱える問題や悩みをしっかりと直視すること◆強制ではなく、自発的な参加をするなどです。



団体名 奈良言友会
代表者 堀 茂
住 所 奈良県生駒郡平群町春日丘2-13-15
連絡先 090-9610-6393

奈良言友会の活動

吃音のあるひとのためのセルフヘルプ(自助)グループである奈良言友会は、毎月第1日曜日の午後、奈良市ボランティアインフォメーションセンターで例会を行っています。

吃音は、言葉がつかえて、うまく話せない問題で、成人の100人に1人はいると言われますが、決め手になる治療法はなく、黙っていれば人には分からないため、人とのコミュニケーションを避けたり、悩みをひとりで抱え込むことになり易いのです。例会では、吃音からくる不安や悩みを共有し、アイデアを交換するなど話し合いから、より良いコミュニケーション、人間関係をつくる



手がかりを得ます。また吃音を軽減し、コミュニケーション力を高めるためのトレーニングなどを行っています。



奈良言友会では上述の例会とは別に、吃音の社会的な認知と支援に向けた活動として、昨年10月、国際吃音啓発月間に合わせて、「吃音セミナーin奈良」を教育、医療専門職、吃音当事者、吃音児の保護者を対象として開催し、100名以上の方が参加しました。また例年夏に行っている「ことばの親子交流会」は今年も第3回を生駒山麓公園で行い、日頃、独りの殻にこもりがちな吃音のある子どもたちが仲間と共に野外活動を楽しみました。これらの催しで、保護者、教育や医療の専門職、吃音の当事者などが、吃音の認知と支援について共に考える意義ある機会になったと思います。



団体名 奈良市断酒会
代表者 代表 佐埜 清
住 所 奈良市六条西3-22-15 B102 山崎公平方
連絡先 0742-93-9709

奈良市断酒会の活動

1972年7月、6名のアルコールの「負の部分」で苦しむ本人と、その家族が自身の「回復」と、潜在するアルコール依存症者への「啓発」のため設立。現在、奈良県全域で4つの「断酒会」(奈良市断酒会、生駒断酒会、奈良若草断酒会、南大和断酒会)の14支部が本人120名、家族90名で活動。

会員、家族の「回復」への基本活動として、支部毎の「例会」が週1回、定期的に開催され「体験談」が語られる。入会の条件は、ただ本人が「酒をやめたい」と望むことのみで、職業、年齢、性別、その他差別は一切ない。一昔前までは40,50代の男性が中心だったが、現在は定年後の発症、女性や若年者の増加が顕著で、「誰でもかかりうる病気」が実証されている。



「啓発」活動として、これまでも毎年一般市民を対象に奈良市保健所、植松クリニック、断酒会共催で奈良市アルコール関連問題懇談会市民セミナーを開催。

また、県内6カ所で「県民セミナー」を開催。「アルコール依存症」についての理解と相談事業を行ってきたが昨年末成立した「アルコール健康障害対策基本法」の後押しを受け、7月の「県民だより」に関連記事の掲載が実現。

また11月10日から16日の「啓発週間」には、行政、医療との共催での関連事業が計画されている。

「酒は百薬の長」といわれますが、飲み方によっては酒は「万病の素」にもなります。「断酒会」は決してお酒を否定する会ではありません。

「わきまえた飲み方」を覚え、続けることで、一生うまい付き合いをしてください。

この他にも「ギャンブル」「難病」の悩みを持つセルフヘルプのグループなどありますので、関心のある方はセンターまでお問い合わせください。(奈良市ボランティアインフォメーションセンター Tel 0742-93-8435)

登美ヶ丘中学校区地域教育協議会

今回ご紹介させていただくのは、登美ヶ丘中学校区地域教育協議会（会長：伊藤 實さん）です。

教育活動（学習・部活動）支援、環境整備ボランティア活動～地域でつなぐ子育てのWA～「共に 学びあい 育てあい」を合言葉に「ホタルフェスタ」「イングリッシュカフェ」など様々な活動をされている様子をお聞きました。

ホタルフェスタ2014の開催

去る6月28日（土）鶴舞幼稚園・小学校に於いて地域の交流・絆を深める「ホタルフェスタ2014」が開催されました。

同協議会の和田コーディネーターが実行委員長を務められ、今年は鶴舞幼稚園・小学校創立50周年祝賀記念事業として共に開催。会場では、ホタル検定をはじめ、スタンプラリー・ドジョウつかみ・こけ玉作りなどのイベントに加え、フランクフルトや綿菓子などの模擬店も出店され、盛況で来場者は和やかな1日を過ごされたとのことでした。

和田コーディネーターは、「イベントを通してもっと地域教育協議会を知ってほしい」とのこと。また、「イベントには皆さん積極的で、ボランティア及び保護者や地域の皆さまのご協力・ご支援のおかげで昨年より2倍の600名もの方々が賑わいました」と感謝されていました。



焼きそば



金魚すくい

【秋篠川をホタルの飛ぶ川にしたい！】

秋篠川添いの校区の学校で「秋篠川共同体」と称し、みんなで秋篠川環境について学ぶ活動をされています。

毎月第3土曜日午前8時半～9時半まで地域の方（「秋篠川源流を愛し育てる会」）とともに清掃ボランティア活動を行っておられ、秋篠川周辺に細々と残るヘイケボタルを増やそうとホタルプロジェクトを登美ヶ丘中学校区学校支援本部で立ちあげられ秋篠川で孵化を試みられました。

夢は…中々、現状はそう簡単にいかなかったそうでご苦労があったそうです。ホタルは暗いところが好きなので周囲に電燈などの光が差し込むと住まなくなり、ホタルには適さない環境と話されていましたが、まだまだこの挑戦は続くようです。

また、登美ヶ丘中学校区地域教育協議会には、ホタルの研究家（三谷彰一氏）など、優れた人材が豊富におられるそうです。



イングリッシュカフェの開催

月に1回から2回、平日の放課後、講師にVinh Trinh（ビントリンフ）先生を招き、図書室でゲームなどを行いながら、楽しく英語を学習されています。

また、日頃の学習の成果を試す機会として年に1回、奈良公園を中心に東大寺・興福寺などに出向き、学習した英語を使って外国人に話しかける「インタビューコンテスト」を行ってられます。

話す内容は①あいさつ②どこから来たか③何日滞在するのか④日本の食事は何が好きか⑤どこへ観光に行くのか⑥みやげは何を買うのか、などを英語で話しかけ、何人の外国人の人と話せたかを子どもたちが競うコンテストを実施されています。



ビントリンフ先生



ゲームをしながら楽しく英語学習

伊藤会長も外国語は堪能ですが、イングリッシュカフェでは一緒に子どもたちと学習をされています。

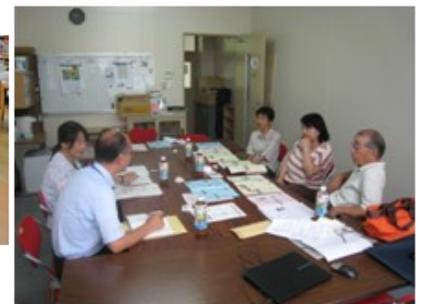
会長は現役時代、お仕事でたくさんの国に行かれた経験から「国際化とは違いがわかること」「それぞれの国には特徴があり、みんな違う」「あ・うんの呼吸は、外国では通用しない」。また「相手の立場に立って物事を見ることの大切さを子どもたちには理解してほしい」と話しておられました。外国に行ってみるのがよいが、最低限英語は必要なので学習してほしいと話されておられました。

英検・漢字検定の開催

年に漢字検定3回・英語検定3回（本年度は2回の予定）をこれまでから実施されてきました。子どもたちのよき理解者であるコーディネーターさんが実施されますので、子どもたちも自分達の力を十分発揮できます。



伊藤会長と辻村教頭先生



登美ヶ丘中学校で取材の様子

今回お忙しい中取材に応じて下さった伊藤会長さん、辻村教頭先生、宮崎総合コーディネーターさん、和田コーディネーターさんありがとうございました。

お知らせ！情報コーナー

第3回 市民公益活動入門講座ご案内〈2回連続講座〉

「広報力・発信力向上セミナー～デジタルカメラを使って動画発信～」

【第1回】11月26日(水) 10:00～14:30 (休憩1時間挟む)

ースイッチの入れ方から撮影の基本までー
・“使える映像”を撮影するコツ など

【第2回】12月10日(水) 10:00～14:30 (休憩1時間挟む)

ー映像の活用の仕方ー

・撮影した素材への効果的な手の加え方
・PC、スマートフォン等様々な端末を利用した動画配信や情報発信について

講師：株式会社エーゲル 田中基貴 (たなか もとき) 氏

※詳細については、しみんだより等で追ってお知らせします。

ボランティア入門講座 (10～12月) ご案内

日時

10月25日(土) 13:30～15:30

11月22日(土) 13:30～15:30

12月20日(土) 13:30～15:30

場所

ボランティアインフォメーション
センター会議室

申込

講座名、開催日、氏名(ふりがな
電話番号を明記の上、電話かF A
X、Eメールでお申込み下さい。

締切

各開催日の1週間前まで



ボランティア活動先一覧を
活用しましょう！



ボランティア
を探している
んですけど

情報コーナーのおすすめ本

「ソトコト」(月刊誌)

ロハスピーブルのための
快適生活マガジン



一度手にとって見てみて下さい！

【ボランティア】行きます！来て下さい！

ボランティア活動をし
たい方やボランティアを
募集したい方は、相談
窓口にお越しください。
ご希望により、情報コー
ナーに掲示させていただきます。



◆◆◆各コーナーのご紹介◆◆◆

交流コーナー：ボランティア・NPOなどの活動に参加を希望されている方々や、地域の交流の場として、幅広い活用ができるフリースペースです。(無料)

パソコン：ボランティア・NPOなどの情報収集をするために、一定時間内であれば自由に利用していただけます。検索用・作業用のパソコンを、必要に応じてご利用になれます。(無料)

情報コーナー：ボランティア活動などのパンフレットやチラシ、団体が活用できる助成金等の資料等を設置しています。様々な情報の発信や収集にご利用いただけます。



交流コーナー



パソコン(検索用)



情報コーナー

奈良市ボランティア インフォメーションセンター

連絡先

〒630-8122

奈良市三条本町13番1号はぐみセンター1階

開館時間：9:00～21:00(月～土曜日)9:00～17:00(日曜・休日)

休館日：年末年始

TEL:0742-93-8435 FAX:0742-34-2336

MAIL:volunt-info@city.nara.lg.jp URL:<http://www.city.nara.lg.jp>



※駐車場の駐車台数には限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用下さい。(満車の場合は、周辺の有料駐車場をご利用いただくようお願いいたします。)

【編集後記】

今回は、秋のイベント(パネル展や井戸端サロンやHUG²祭り開催)や団体の紹介以外に団体の個人に焦点を当てた「インタビュー記事」等盛りだくさん内容となりました。団体交流のよい機会としてお役に立てればと思っています。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

